

第2学年 1学期

科目		評価について
国語	言葉の使い方を理解し、文字を正しく書くことができる。 (知識・技能)	【ちいさいおおきい】【えいっ】【「言葉あそび」をしよう】【きつねのおきゃくさま】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 【つづけてみよう-日記-】 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。 【ひろい公園】【すみれとあり】【「生きもの」クイズを作ろう】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【漢字の広場を中心に全単元】 前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 【かたかなで書く言葉】 片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。 【図書館で本をさがそう】 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 【いなばのしろうさぎ】 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。
	順序立てて考え、自分の思いや考えをもち伝えることができる。 (思考・判断・表現)	【ちいさいおおきい】【えいっ】【きつねのおきゃくさま】 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【えいっ】 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 【すみれとあり】 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 【図書館で本をさがそう】【すみれとあり】 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【きつねのおきゃくさま】 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 【つづけてみよう-日記-】【一年生で学んだ漢字】【「生きもの」クイズを作ろう】 「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 【すみれとあり】 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【「生きもの」クイズを作ろう】【「かんさつはっけんカード」を書こう】 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 【すみれとあり】 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【声のものをさしをつかおう】【うれしくなる言葉】 「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 【えいっ】【ひろい公園】 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。
	国語に対する関心をもち、思いや考えを伝え合い、すすんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)	【ちいさいおおきい】【つづけてみよう-日記-】 ・学習の見通しをもって、進んで音読したり、日記を書いたりしようとしている。 【えいっ】【きつねのおきゃくさま】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもっておもしろいところを紹介しようとしている。 【ひろい公園】 ・積極的に自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。 【漢字のひろば】 ・積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見通しをもって正しい筆順で漢字を書こうとしている。 【すみれとあり】 ・進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。 【言葉あそびをしよう】 ・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。 【かたかなで書く言葉】 ・積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書こうとしている。 【図書館で本をさがそう】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の探し方を知らようとしている。 【「生きものクイズ」を作ろう】 ・積極的に必要な事柄を集めたり確かめたりし、学習の見通しをもって「生きものクイズ」を作ろうとしている。 【うれしくなる言葉】 ・積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。 【いなばのしろうさぎ】 ・進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。 【「かんさつ発見カード」を書こう】 ・粘り強く事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「かんさつ発見カード」を書こうとしている。 【言葉のなかまさがしをしよう】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって漢字の意味のつながりを知ろうとしている。

<p>算数</p>	<p>数量、図形、表やグラフについて理解し、正しく計算や測量をすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【わかりやすく表そう】 ・身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができる。 【たし算のしかたを考えよう】 ・2位数の加法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。 【ひき算のしかたを考えよう】 ・2位数の減法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。 【長さをはかってみよう】 ・長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、物差しを目盛りの仕組みを理解し、およその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定したり、指定された長さの直線をひいたりすることができる。 【100より大きい数をしらべよう】 ・3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。 【水のかさをはかってみよう】 体積について単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当を付け体積の単位を適切に選択して身の回りに入る入れ物に入る水の体積を測定することができる。 【時計を生活に生かそう】 ・時刻と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間を求めたり、表したりすることができる。</p>
	<p>数量や形の特徴を捉えることができ、筋道を立てて考え、表現することができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【わかりやすく表そう】 ・データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察している。 【たし算のしかたを考えよう】 ・数の仕組みに着目し、2位数の加法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。 【ひき算のしかたを考えよう】 ・数の仕組みに着目し、2位数の減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。 【長さをはかってみよう】 ・普遍単位の必要性に気付く、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。 【100より大きい数をしらべよう】 ・10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさから捉えたりしている。 【水のかさをはかってみよう】 ・長さの学習を基に、普遍単位の必要性に気付く、身の回りに入る入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目して捉え、目的に応じた単位で体積を的確に表現したり、比べたりしている。 【時計を生活に生かそう】 ・時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明している。</p>
	<p>数や図形に親しみ、算数のよさや楽しさを感じながら学ぶことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【わかりやすく表そう】 ・身の回りの事象に関心をもち、表やグラフを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く今後の生活や学習に活用しようとしている。 【たし算のしかたを考えよう】 ・2位数の加法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付く今後の生活や学習に活用しようとしている。 【ひき算のしかたを考えよう】 ・2位数の減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付く今後の生活や学習に活用しようとしている。 【長さをはかってみよう】 ・身の回りに入るもの長さに関心をもち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く今後の生活や学習に活用しようとしている。 【100より大きい数をしらべよう】 ・10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付く今後の生活や学習に活用しようとしている。 【水のかさをはかってみよう】 ・身の回りに入る入れ物に入る水の体積に関心をもち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く今後の生活や学習に活用しようとしている。 【時計を生活に生かそう】 ・時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く今後の生活や学習に活用しようとしている。</p>
<p>生活</p>	<p>自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【春だ今日から2年生】 ・春の身近な自然の観察を通して、四季の変化や春に合わせて生活の様子が変わることについて気付いている。 【大きなあれわたしの野さい】 ・植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。 【どきどきわくわくまちなんけん】 ・地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。 【生きものなかよし大作せん】 ・動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、自分たちと同じように生命をもっていることに気付いている。</p>
	<p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【春だ今日から2年生】 ・春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬の様子と比べ、身近な自然の違いや特徴を見付けている。 【大きなあれわたしの野さい】 ・植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもち働きかけている。 【どきどきわくわくまちなんけん】 ・地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりについて考えている。 【生きものなかよし大作せん】 ・動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち働きかけている。</p>

	<p>身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、すすんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【春だ今日から2年生】 ・春の身近な自然の観察を通して、春の自然や地域の安全を守っている人に親しみ、地域で安全に生活しようとしている。 【大きなあれわたしの野さい】 ・植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみを持ち、大切にしようとしている。 【どきどきわくわくまちたんけん】 ・地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。 【生きものなかよし大作せん】 ・動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。</p>
<p>音楽</p>	<p>音楽の仕組みに気付き、歌唱、楽器、音楽づくりができる。 (知識・技能)</p>	<p>【朝のリズム】 ・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ・互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。 【強さやはやさをかんじて】 ・曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【リズムやドレミとなかよし】 ・曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 ・互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。 【音のスケッチ】 ・音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ・音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。</p>
	<p>音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、音楽の楽しさを感じながら味わって聴くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【朝のリズム】 ・旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【強さやはやさをかんじて】 ・強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。 【リズムやドレミとなかよし】 ・リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。 【音のスケッチ】 ・和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。</p>
	<p>楽しく音楽に関わり、身の回りの様々な音楽に親しむことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【朝のリズム】 ・歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【強さやはやさをかんじて】 ・強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【リズムやドレミとなかよし】 ・リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【音のスケッチ】 ・鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>
<p>図画工作</p>	<p>材料や用具の使い方を知り、表し方を工夫してつくることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【すきなことなかに】 ・絵に表したり友達作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気付いている。 ・表したい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。 【ねん土がうごき出す！】 ・粘土に働きかけることを通して、触った感じや形の変化に気付いている。 ・粘土をにぎる、穴を開ける、たたいてのぼすなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。 【新聞紙とあそぼう】 ・新聞紙に働きかけることを通して、形や触った感じの変化に気付いている。 ・新聞紙をねじったり裂いたり穴を開けたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。 【ぼかしあそびで】 ・いろいろなこすり方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさや面白さに気付いている。 ・いろいろなこすり方を試したり組み合わせたりしながら工夫して表している。 【ふしぎないきものあらわれた】 ・絵に表したり友達作品を見たりすることを通して、はじき絵から生まれた形や色の面白さに気付いている。 ・生き物の形や、生き物のまわりの色づかいなどの表し方を工夫して表している。 【みんなでワイワイ！紙けん玉】 ・互いの作品で遊ぶことを通して、けん玉の形や色の面白さやよさに気付いている。 ・好きな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりすることができる。 【えのぐじま】 ・互いの作品を見合うことを通して、互いの「えのぐじま」の形や色、筆触の違いなどに気付いている。 ・筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表している。</p>

<p>表現したいことを楽しく発想したり、身近な作品から自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【すきなことなあに】 ・経験をもとに表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。 【ねん土がうごき出す！】 ・粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考えている。 【新聞紙と あそぼう】 ・新聞紙に働きかけることから生まれる形をもとに造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考えている。 【ぼかしあそびで】 ・クレヨンやパスをぼかした形や色などをもとに表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。 【ふしぎないきものあらわれた】 ・はじき絵の技法から表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。 【みんなでワイワイ！紙けん玉】 ・仕組みをもとにつくりたいけん玉を思い付き、どのように表すかを考えている。 【えのぐじま】 ・「えのぐじま」「カラフルななみ」などの言葉から表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。</p>	
<p>友達と関わり合い、楽しく表現したり鑑賞したりすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【すきなことなあに】 ・自分が好きなことを絵に表すことに興味をもち、楽しく取り組もうとしている。 【ねん土がうごき出す！】 ・粘土に積極的に働きかけ、いろいろな形を見付けることを楽しもうとしている。 【新聞紙と あそぼう】 ・全身で新聞紙に働きかけながら、いろいろな形や触った感じの変化などを見付けることを楽しもうとしている。 【ぼかしあそびで】 ・クレヨンやパスを用いたぼかし遊びに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 【ふしぎないきものあらわれた】 ・はじき絵の技法に関心をもち、あらわれたら面白い生き物を描く活動に楽しく取り組もうとしている。 【みんなでワイワイ！紙けん玉】 ・けん玉をつかって遊ぶ活動に関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 【えのぐじま】 ・絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いて楽しく取り組もうとしている。</p>	
<p>体育</p>	<p>運動の仕方を知り、いろいろな運動ができる。 (知識・技能)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】 ・手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 【走の運動遊び】 ・いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができる。 【マットを使った運動遊び】 ・いろいろな方向へ転がり、手で支えて体の保持や回転をすることができる。 【表現遊び】 ・身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ることができる。 【水遊び】 ・水につかって歩いたり走ったりすることやもぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすることができる。 【多様な動きをつくる運動遊び(用具)】 ・用具を持つ、降ろす、回す、転がす等の動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができる。</p>
<p>それぞれの運動を工夫して活動し考えたことを他者に伝えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】【多様な動きをつくる運動遊び】 ・体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【走の運動遊び】 ・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに考えたことを友達に伝えることができる。 【マットを使った運動遊び】 ・器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【表現遊び】 ・身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【水遊び】 ・水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えたりすることができる。</p>	
<p>きまりを守り、なかよく、すすんで運動することができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】【多様な動きをつくる運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 【走の運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けることができる。 【マットを使った運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。 【表現遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、誰とも仲良く踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができる。 【水遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲良く運動をしたり、水遊びの心得を守って、安全に気を付けたりすることができる。</p>	

※音楽科については、感染症の影響により、学習題材を変更する可能性があります。その場合、学習題材に合った評価基準を設定し、指導と評価の一体化を図っていきます。